

Noto Sports

この春、北信越・全国大会に挑む
小中学生アスリート



「田の神様」に豊作と地区の繁栄を祈る

厳しい冬期間、家族と共に過ごし、種もみを守ってきた「田の神様」。2月9日は田の神様を田んぼに送る「春のアエノコト」が奥能登各地で行われた。

国指定無形民俗文化財に指定されている「奥能登のアエノコト」は、奥能登地方だけに伝わる農耕神事。昨年9月にはユネスコ無形文化遺産にも登録された。

国重地区では、ユネスコ無形文化遺産への登録をきっかけとして有志が集



写真上_朱塗りの御膳にごちそうを並べる保存会員 写真右_夫婦神である田の神様をもてなす海の幸と山の幸 写真下_目の不自由な田の神様に一品一品料理の説明をする吉村さん。そこに田の神様がいるかのように振る舞う。



まり、国重アエノコト保存会（吉村安弘会長）を結成。資料を集め、昔の記憶をたどりながら、一昨年12月に吉村さん宅でのアエノコトを約50年ぶりに復活させた。「小学生のころに一回だけ見た記憶がある。その記憶がなければできなかった」と話す吉村さん。

この日も保存会員が吉村さん宅に集まり、協力しながらアエノコトの準備を進めた。吉村さんは目の不自由な田の神様を丁寧にもてなし、豊作と国重地区の繁栄を田の神様に祈っていた。



男子団体として奥能登勢初の 県第一代表

今まで別々に県連盟登録していた能都と柳田のバドミントン少年団が一つになった能登町ジュニア。11月28日の県大会では4年男子団体チームが予選、決勝共に圧勝し、北信越大会の切符を手に入れた。

4年谷口・安孫は県ナンバーワンダブルス。3年山本（幸）と合わせてチームの3人が県少年連盟の強化選手に指定され、月一回の強化練習会に参加している。「指導するわたしたちが驚くほど、月一回の練習会で子どもたちは大きく成長してきている」と話す山岸修監督。干場和規コーチは、このチームの今後の成長に期待を込める。「まだ4年生。北信越大会では結果を恐れず思いっきりやってほしい」。共に2年生からバドミントンを始めたという谷口・安孫は「ベスト4を目指したい」と口をそろえる。

子どもたちには壁はない。能登町ジュニアは、学校の壁、地域の壁を越え、北信越大会という大舞台でシャトルを打ち込む。

北信越小学生バドミントン大会（3/7・富山県高岡市）出場

能登町ジュニア（バドミントン）

後列左から

山本幸太（柳田小3年） 安孫 幹（宇出津小4年） 谷口諒真（柳田小4年） 正木涼太（柳田小3年）

前列左から

山本希望（宇出津小4年） 川崎泰希（宇出津小4年） 新出拓哉（柳田小3年） 山根大輝（柳田小3年）



春の全国小学生ドッジボール選手権北信越大会（2/28・金沢市）出場

柳田ドッジボールクラブ

後列左から

池下裕貴（5年） 出村拓也（6年） 石田元基（6年） 坂下流介（6年） 武藤樹海（6年） 赤田和央（6年）

中央左から

堂前昭吾（6年） 山下唯斗（6年） 平 歩生（6年） 道下真里（6年） 辻口優太（5年） 浅井矯弥（6年）

前列左から

山本裕貴（5年） 大庭 夕（4年） 本間友貴（4年） 岡田一鷹（6年） 松本真聖（4年） 室石朔太郎（6年）

県大会で初優勝 自慢の攻撃力で全国を目指す

1月24日、金沢市総合体育館で開催された第19回春の全国ドッジボール選手権石川県大会。出場18チームのうち、本町からは柳田ドッジボールクラブと小木クラブの2チームがエントリーした。

柳田ドッジボールクラブは、2年前の同大会で決勝戦敗退。悲願の初優勝を目指して予選リーグ、決勝トーナメントを勝ち抜いていった。

監督の角間雅之先生は「どこからでも攻撃できるチームで力はある。課題はディフェンス。しっかり守ることができれば全国も夢じゃない」と分析する。

キャプテンの赤田和央君は「石川県1位としての誇りを持って、優勝、全国大会出場を目指したい」と意気込む。

「県大会では試合をすることに力を発揮していった」と角間先生は話す。試合を重ねて強くなる柳田ドッジボールクラブ。3回目の挑戦となる北信越大会でもその進化は止まらない。

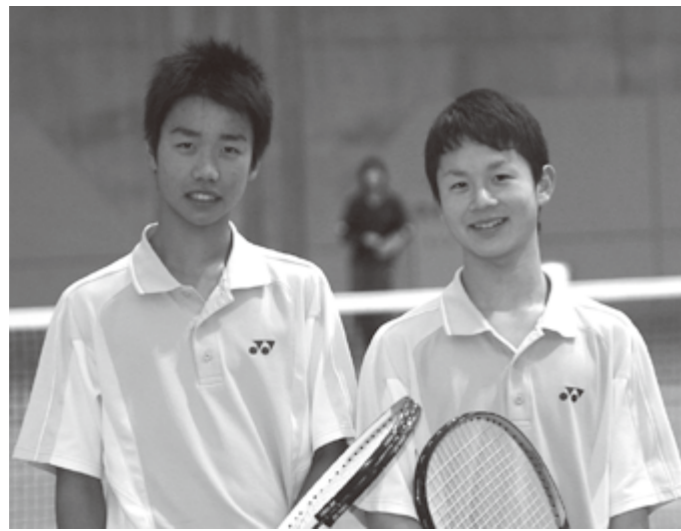


左から

大屋健一 (2年)

清水寛生 (2年)

8ペアのリーグ戦で行われる3次予選。大屋・清水ペアは前年の悔しさをバネに2位となって初出場を決めた。「県代表としていい成績を残したい(大屋)」「一番大きな声を出して、悔いの残らない試合をしたい(清水)」と意気込みを語る。



橋本 遥 (1年)

中田依緒里 (1年)

1年生ながら3次予選を全勝して1位となった橋本・中田ペア。「わたしがつなげて、依緒里が決める。ベスト4以上を目指したい(橋本)」「まずは1勝。来年につながる大会にしたい(中田)」と今大会の目標を語る。



井田真季 (1年)

道地佑李 (2年)

3次予選では鶴川の2ペアに敗れたが、2位となって県代表に選ばれた井田・道地ペア。「決める所は決める、前衛らしい試合をしたい(道地)」「相手より先に攻めてリズムをつかむ。1本でも多く取りたい(井田)」と力強く宣言。



山下藍里 (2年)

久山亜衣 (2年)

山下が3次予選前日に発熱。5位という結果だったが、実力が評価され推薦枠である4ペア目に出出された。「声を出して1本1本を大切にしていきたい(山下)」「自分たちらしい攻めるプレーで団体優勝を目指したい(久山)」と上位入賞を狙う。



鶴川中学校 ソフトテニス部



都道府県対抗 全日本中学生ソフトテニス大会
(3/26)28・三重県伊勢市) 出場

県選抜が出場する都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会。代表に選ばれるためには、1次から3次までの予選(県中体連強化練習会)突破が必要だ。この大会に鶴川中の男女4ペアが出場を決めた。特に女子は、代表4ペアのうち3ペアを鶴川中が占める。
「4ペアともに実力は県トップクラス。

代表としての自覚と自信をもって大会に臨んでほしい」と話す當日コーチ。「女子は全中3位メンバーの1年生に加え、2年生のレベルが上がって団体としてのスキがなくなってきた」と期待する。
1月の北信越インドア大会でも初優勝。強い鶴川中。その最強メンバーが、伊勢の地で全国の強豪に挑む。



5年女子の部出場
(県予選2位)

山瀬茉依 (宇出津小5年) **橋本 茜** (鶴川小5年)

昨年4年女子の部に出場した橋本・山瀬ペア。「ミスをしなないようにして全部勝ちたい(橋本)」「去年は緊張したので今年は思い切ってボレーを決めたい(山瀬)」と抱負を語る。山瀬の姉はこの大会2連覇。姉妹での制覇を目指す。



5年男子の部出場
(県予選2位)

山下康輔 (鶴川小5年) **久山隆希** (鶴川小4年)

昨年4年男子の部に出場し、リーグ戦4位、トーナメント1回戦敗退という結果に終わった久山・山下ペア。今年は「1位トーナメントに出る(山下)」「思いっきり攻める試合をする(久山)」と気合いが入っている。



4年女子の部出場
(県予選1位)

山本英里 (鶴川小4年) **下畠奈巳** (鶴川小4年)

昨年は3年生ながらも大会に出場し、1勝をあげた山本・下畠ペア。今年の目標を「ミスをしないうこと。優勝したい(山本)」「全部勝ちたい(下畠)」と話す。同クラス連続出場の二人。今大会で一年間の成長を確かめる。



4年男子の部出場
(県予選3位)

奥野立樹 (鶴川小4年) **大町 陸** (鶴川小4年)

今大会初出場となる大町・奥野ペア。「初めてなので1回以上は勝ちたい(奥野)」「ダブルフォルトをしないこと。相手が強くてもラリーを続ける粘り強い試合をしたい(大町)」と大舞台での試合を楽しみにしている。

全国小学生ソフトテニス大会
(3/29～31・千葉県白子町) 出場

鶴川ソフトテニス スポーツ 少年団





入っていますか？

2010年度のスポーツ安全保険の加入受け付けが3月1日から始まります。この保険は、スポーツ・文化・ボランティア活動などを行う5人以上のグループを対象として、経路往復中も含めた傷害事故や賠償責任を負う事故を補償するものです。万一に備えて加入しましょう。

加入対象者	補償される団体活動	区分	掛金 一人年額
子ども (中学生以下)	団体活動全般	A1	円 600
	団体活動全般 上記以外 (個人活動・個人練習など)	AW	1,150
大人 高校生以上	文化・ボランティア・地域活動	A2	600
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600
	子どものスポーツ活動の指導 (C区分でも加入可)	AC	1,100
65歳以上	スポーツ活動 (C区分でも加入可)	B	800
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000

※上記以外にインターネット加入に限り、開催期間から3カ月以内の短期スポーツ教室専用の加入区分があります。

【対象となる事故】
団体活動中の事故、経路往復中の事故

【受付期間】
平成22年3月1日から23年3月30日

【保険期間】
平成22年4月1日から23年3月31日
(4月1日以降の申し込みは、加入手続きの翌日から有効)

【問い合わせ】
(財)スポーツ安全協会石川県支部
(県教育委員会事務局スポーツ健康課内)
☎076-225-1851
または、役場生涯学習課☎72-2510

【ホームページアドレス】
<http://www.sportsanzen.org>

院大)
県学生バスケットボール選手権
大会団体優勝
濱高二仁(金沢大)
北信越学生ソフトテニス選手権
大会(第107回)個人優勝
鶴野晋太郎(富山大)
同(第108回)個人優勝
仙福剛悠(関西学院大)
関西六大学春季リーグ戦団体優勝
(ソフトテニス)
丸谷幸代(金沢星稜大)
北信越学生ソフトテニス大学対
抗リーグ戦大会団体優勝
田中千晶(愛知大)
秋季東海学生大学対抗リーグ戦
団体3位(ソフトテニス)
中田淳平(金沢大)
北信越学生ソフトテニス大学対
抗リーグ戦大会団体優勝

高宮大介(金沢学院大)
同団体準優勝
高田貴裕(金沢大)
森田杯北信越学生ソフトテニス
チーム対抗戦大会団体3位
釣谷祐太(愛知学院大)
会長杯争奪東海学生ソフトテニ
ス新人戦大会個人3位
駒寄真弓(町アーチェリー協会)
北信越春季アーチェリー大会個
人優勝
深見宣夫(町アーチェリー協会)
国体選手最終選考会個人優勝
二田早智子(七尾高)・紅屋来
美(能都北辰高)・道地亮太(日
本航空高)・堂野貴寛(同)・川
口晶子(早稲田大)・寺下将司
(明治大)・新平浩之(町ソフト
テニス協会)・高山泰英(同)・
川原智恵子(同)

国体ソフトテニス競技出場
鶴川ソフトテニススポーツ少年
団(高宮眞・浅田祥吾・山下康
輔・大町陸・奥野立樹・久山隆
希・中田悠斗)
県小学生ソフトテニス団体選手
権大会団体優勝
能登町ジュニア(谷口諒真・新
出拓哉・正木涼太・山根大輝・
山本幸太・川崎泰希・安孫幹・
山本希望)
県小学生バドミントン団体選手
権大会団体4年の部優勝
能都バドミントン少年団(紙子
恭輔・中前康太郎・安孫周・勘
平凌我・板谷響・乙川一馬)
県スポーツ少年団バドミントン
交流大会団体優勝
能都中学校ソフトテニス部
(佐々木美和・岩崎加奈・河村

◆能登町スポーツ賞
安孫周・勘平凌我(宇出津小)
県スポーツ少年団バドミントン
交流大会個人6年の部優勝
佐々木美和・岩崎加奈(能都中)
県中学校ソフトテニス大会個人
優勝
山本恵未(柳田中)
全日本中学校通信陸上競技石川
県大会走り高跳び優勝
廣瀬祐人(珠洲実業高)
北信越高校体育大会ウエイトリ
フティング競技62kg級優勝
谷口智美(珠洲実業高)
同58kg級準優勝
岩本沙緒里・奥亜紗日・蔵理恵
子・小谷内良華・善野智栄・釣
谷李紗・善野由希栄(飯田高)
夏畑敬之・紺谷智仁(七尾高)
県高校総体ソフトテニス競技団
体優勝
寺下洸平・濱高彰仁(小松市立高)
県高校ソフトテニス新人大会個
人優勝
清水基善(小松市立高)
同団体優勝
松本佑祥(日本航空高)
全国高校野球選手権石川大会優勝
小宿咲(大阪体育大)
全関西女子学生バスケットボー
ル選手権大会団体準優勝
田中成美・石崎かおり(北陸学

奈々・中野綾・尾上真耶・小坂
ひかる)
北信越中学校総合競技大会ソフ
トテニス競技団体準優勝
能都北辰・能登高校女子ソフト
テニス部(大屋京子・新祐未・
寺越由紀子・山田理香子・北口
智子・木村優里・下島尚子・玄
田奈々)
県高校ソフトテニス新人大会団
体優勝
町ソフトテニス協会(笠原淳・
高山泰英・新平浩之・高宮大介・
佐野次郎・川端光明・下島慎也・
西海成吉・中道和央・小原信幸・
赤坂由紀・辻口由美子・養島美
幸・丸谷幸代・釣谷由依・畠中
歩美・持木鮎美・藤原泰子)
県民体育大会・県インドアソフ
トテニス選手権大会団体優勝

◆能登町スポーツ敢闘賞
小谷内優志(真脇小)
今泉杯西日本友好学童軟式野球
大会優勝
竹川雅也(真脇小)・川端千尋(松
波小)
西日本選抜学童軟式野球倉敷大
会4位

◆能登町スポーツ振興賞
畑中義昭(町ゲートボール協会)



2009年度 輝いた能登町のアスリート

平成21年度能登町スポーツ表彰式が2月16日に行われ、本年度スポーツの分野で活躍した個人や団体122人が表彰を受けました。

◆能登町スポーツ賞
安孫周・勘平凌我(宇出津小)
県スポーツ少年団バドミントン
交流大会個人6年の部優勝
佐々木美和・岩崎加奈(能都中)
県中学校ソフトテニス大会個人
優勝
山本恵未(柳田中)
全日本中学校通信陸上競技石川
県大会走り高跳び優勝
廣瀬祐人(珠洲実業高)
北信越高校体育大会ウエイトリ
フティング競技62kg級優勝
谷口智美(珠洲実業高)
同58kg級準優勝
岩本沙緒里・奥亜紗日・蔵理恵
子・小谷内良華・善野智栄・釣
谷李紗・善野由希栄(飯田高)
夏畑敬之・紺谷智仁(七尾高)
県高校総体ソフトテニス競技団
体優勝
寺下洸平・濱高彰仁(小松市立高)
県高校ソフトテニス新人大会個
人優勝
清水基善(小松市立高)
同団体優勝
松本佑祥(日本航空高)
全国高校野球選手権石川大会優勝
小宿咲(大阪体育大)
全関西女子学生バスケットボー
ル選手権大会団体準優勝
田中成美・石崎かおり(北陸学